

第357回通常会議（令和元年6月）では、天皇陛下のご即位に際し、天皇皇后両陛下に賀詞を奉呈する決議案が可決されました。

県議会に提出いたしました。意見書は、本会議で採択になり、早川尚秀、栃木県議会議長名で、内閣総理大臣など関係各大臣に送付し、食品ロスの削減に向けたさらなる取組、交通安全対策、広域的な道路ネットワークの強化等について要望を致しました。

◆天皇陛下御即位賀詞奉呈決議

賀詞

天皇陛下におかせられました。風薫るよき日にご即位されましたことは誠に慶賀に堪えないところであります。天皇皇后両陛下のますますのご清祥と令和の世において世界の平和と我が国の繁栄が一層進展しますよう、心からお祈り申し上げます。謹んで慶祝の意を表します。

令和元年六月十一日

栃木県議会

◆意見書

○食品ロス削減に向けた更なる取組

本年五月「食品ロス削減推進法」が成立し、国・地方公共団体等の責務や施策の基本的事項などが示されました。県議会として、食品ロス削減に向けた更なる取組を国に對し要望するものです。

- 一 食品の需要に応じた製造・販売等の体制構築や商慣習の見直しなど、製造・流通・外食の各段階における食費ロス削減の取組を強化すること。
- 二 食品ロス削減に向けた事業者・消費者等への普及啓発や、学校等における食育・環境教育などへの取組を強化すること。
- 三 賞味期限内の未利用食品を支援が必要な人に届けるフードバンクなどの取組を更に支援すること。
- 四 国・地方公共団体、事業者・消費者等の多様な主体が連携した取組の推進及び地方自治体の取組に対する支援の取組に対する支援の充実・強化を図ること。

未来ネットワーク通信

2019.8

ひがの義幸
県政だより

ご挨拶

市長経験の強みを活かし 課題解決に全力を尽くす



県政での役割
(令和元年度)
・ 県議会生活保健福祉
委員会委員長
・ 自由民主党栃木県支部
連合会 副幹事長
・ 自由民主党栃木県支部
政務調査会理事

○交通安全対策の強化
本年五月八日、滋賀県大津市において散歩中の保育園児の列に車両が突っ込み幼い命が失われるという痛ましい事故が発生しました。本県においても中学生以下の子どもたちが死傷した悲惨な事故が後を絶たない状況にあります。こうした地方の実情を認識し、通学路や園児の移動経路における交通事故対策の強化を図るため、国に對し対策を講じるよう要望するものです。

- 一 内閣府、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、警察庁などによる交通安全対策に関する国の推進体制を構築すること。
- 二 通学路に加え、園児の移動経路等についても、保育園・幼稚園、警察、地方自治体、道路管理者等の関係者が合同で点検を実施し、危険箇所について速やかに改善措置を講じることができるよう支援を行うこと。
- 三 通学路や園児の移動経路等における交通安全対策を着実に推進するため、一括交付金ではなく別枠で予算を確保するなど必要な財源措置を講じること。特に、合同点検により緊急的な対策が必要になった箇所については、補正予算等により財政支援を行うこと。

○広域的な道路ネットワークの強化

現在、国や地方では、新たな国土構造の形成やグローバル化、国土強靱化などの社会・経済的要請に応えるための、新たな広域道路交通計画の策定を進めていることから、地方の実情を踏まえた広域的な道路ネットワークの強化を推進するよう、国に對し要望するものです。

- 一 高規格幹線道路を補完する地域高規格道路等のさらなる指定と、広域的な道路ネットワーク強化のための重点的な整備を図ること。
- 二 重要物流道路の二次指定に当たっては、地方の意見を十分に反映して指定を行うこと。
- 三 防災・減災対策や道路施設の老朽化対策など、計画的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するなど、必要な予算を継続的に確保すること。

栃木市民の皆様へ
栃木市民の皆様へ、栃木県議会として三期目を迎えることが出来ました。ご支援をいただいた多くの皆様に、心から感謝を申し上げます。

これまで培ってきた実績と経験を活かし、加えて故郷とちぎに對する変わらぬ情熱を武器の一つ一つの課題解決に向け県民の皆様と共に汗を流してまいります。

特に私は、今回当選した50人の県議会議員の中で唯一市長を経験させていただいており、その強みをしっかりと活かし、「ひがの」だからこそその視点に立って少子高齢化、人口減少、地方創生と待ったなしの課題に果敢に挑戦しその答えを導いて参りたいと考えております。

日頃からご支援を頂いている日向野義幸後援会の皆様、支援企業・支援団体の皆様、そして、県民の皆様には、新しい令和の時代へと時をつなぐ作業の一翼を担って頂きますようお願いを申し上げます。

栃木県議会議員 日向野 義幸

平成31（2019）年度栃木県一般会計予算の規模は8,052億9000万円で幼児教育の無償化等に伴う医療福祉関係費の増や、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」への公共事業費などの増により、前年度と比べ0.2%の増となっている。

自由民主党栃木県支部連合会（政務調査会）、及び、とちぎ自民党議員会の要望が反映された平成31年（令和元年）度予算の中から、日向野県議のピックアップした主な事業を紹介し、当初予算に対する要望は、執行部から予算概要の説明を受けた後、自民党政調会で十分議論し、意見調整を行い、最終的に自民党議員総会で決定し要望したものです。

なお、県民の安全・安心な暮らしの実現や、緊急性の高いものについては「政調上乘せ」として当初予算に「追加計上」されました。※単位千円（カッコ）内は内数



1. 県内経済の活性化
成長が期待される戦略産業分野の振興、外国人観光客の誘客対策や受け入れ環境整備の積極的な推進、県内産業等における人材確保は喫緊の課題となっていることから、外国人材の活用促進や共生社会づくりを早急に進めるとともに、人材確保・人材還流に積極的に取り組むこと。

○デステイネーションキャンペーン推進事業費
134,243
(政調上乘せ 3千150万円)

2. 栃木創生・ブランド力の向上

次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び次期プランの策定に向けて、人口減少問題に立ち向かい、県民が将来に希望の持てる戦略及びプランの策定を進めること。
また、地域ブランド力（魅力度）アップのため、あらゆる分野で「選ばれよう」との現実に全力を挙げて取り組むこと。

○東京2020オリンピック聖火リレー推進事業費
151,240

3. 安心・安全県民生活の確保



北関東豪雨 荒川（都賀地内） 2015.9.30

道路河川等の社会資本の整備については、老朽化した施設の維持管理・修繕に計画的に取り組むこと。
防災力の強化については、河川の氾濫や土砂崩れ等の不測の事態に備え、防災・減災対策に積極的に取り組むこと。また、消防団員

4. 保健・医療・福祉対策の充実

県民誰もが、心身ともに健康で安心して暮らせる社会を望んでいる。さらに健康寿命を延伸するためには、若い世代から生活習慣の改善が必要ことから、ICT等を活用した効率的な健康づくりを検討すること。
また、医療や介護が必要となった場合であっても、住み慣れた地域で暮らしているよう、在宅医療・介護、日常生活の支援が一体的に提供されるよう環境整備の充実を図ること（地域包括ケアシステム構築）。
加えて、家族の介護力が低下している現状を踏まえ、特別養護老人ホーム等のサービス基盤についても計画的な整備を推進すること。
子育て環境の整備促進では、子育て家庭に対する妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の整備に努めること。
また、幼児教育無償化による需要の増加も見据え、保育所、認定こども園等の計画的な整備、私立幼稚園における特別支援を要する園児の受け入れ環境の充実を図ること。

○県単の公共事業費（県土整備部）
13,761,078
(政調上乘せ 10億円)
○緊急災害・防災対策事業費（県土整備部）
2,000,000
(政調上乘せ 10億円)
○地域防災力強化事業費（消防防災課）
9,144
(政調上乘せ 3百万円)

**平成31年(令和元年)度
予算に対する
要望と
重点事業
ピックアップ**

○在宅医療推進事業費
60,888
○介護基盤整備等事業費
1,455,690
○幼稚園運営費補助金
2,126,734
(政調上乘せ 13,265)
○特別支援教育費補助金
10,585
(政調上乘せ 10,585)

○栃木の農産物ブランド力強化推進事業費
137,332
(政調上乘せ 1千万円)
○園芸大国とちぎづくり推進事業費
632,012
(政調上乘せ 8千万円)
○地域ぐるみの総合的な鳥獣対策促進事業費
407,345
(政調上乘せ 1億円)

○県立学校施設長寿命化推進事業費
1,626,257
(政調上乘せ 5千万円)
○総合スポーツゾーン整備費
10,078,330

○交通安全施設整備事業（警察本部）
1,861,498
(政調上乘せ 5千万円)

8. 交通事故防止対策の推進

交通事故防止に向け、老朽化した道路標識・標示の更新、信号機の新設・改良など、交通安全施設の計画的な整備を推進すること。
また、高齢運転者の増加に対応した交通事故防止対策に取り組むこと。

5. 農林業の振興

力強い農業の実現に向けて、水田を生かした露地野菜の生産拡大や加工・業務用野菜など、園芸生産の拡大を図ること。
農産物の競争力強化を図るため、いちごをはじめとする県産農産物のブランド力向上と海外の販路拡大に努め輸出拡大を図ること。
農業基盤整備の推進については、担い手への農地集積・集約化の取り組みを加速するとともに、農地の大区画化や排水対策を推進すること。
畜産業の競争力強化については、TPP11の発効等による影響軽減のため、畜産物の質の向上に取り組み、収益性の高い畜産経営体の育成に努めること。
本県の森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくとともに、成長産業化に向けて、より一層県産木材の利用促進に取り組み、鳥獣被害対策については、被害が深刻化・広域化していることから、ICTの活用等による捕獲方法、担い手の確保・育成につとめること。

6. 環境対策の推進

異常気象への新たな「対応策」の検討を進めるなど「地域気候変動適応計画」の策定に積極的に取り組むこと。環境負荷の低減は、水素エネルギーの活用が有益なことから、県民に対し水素の特性・有益性等の理解促進を図り、インフラ整備への支援に努めること。

OFCV（水素エネルギー電池自動車）導入促進事業費
113,128

7. 教育・スポーツの振興



「県政の話題」栃木市関連

○新たな産業団地造成事業の始動
栃木市の栃木インター西地区(24ha)及び、平川地区(32.8ha)の開発事業が栃木県都市計画審議会で、都市計画法による市街化区域への「即時編入」が決定されました。両地区とも栃木市施行の土地区画整理事業による産業団地造成事業になります。
○水素ステーション整備
国のFCV（水素エネルギーで走る燃料電池自動車）導入施策を踏まえ本県初の水素ステーションが藤岡地区の国道50号線沿線に整備されることになりました。
今後栃木市との連携を密にし「FCVの導入促進」普及啓発に努め、本県の水素社会実現を促進することになります。
○巴波川 改修事業化へ
日向野義幸の政策スローガン「とちぎを守る・命を守る」の第一の願いは、巴波川改修に道筋をつけることでした。詳しいことは次号になりますが、市街地の巴波川改修計画が具現化します。

ご支援ありがとうございます

ひがの義幸選対本部解散

令和元年五月二十四日に日向野義幸県議会議員選挙対策本部解散式が選対本部役員により開催されました。

古澤悦夫選対本部長から、ご支援をいただいた皆様へ日向野義幸の県議当選に対する感謝と、「県議選総括」の報告がありました。

総括では、今後の課題として後援会組織の立て直しを着実に進めることが報告されました。

日向野義幸県議からは、ご支援をいただいた皆様に対する感謝と、三期目に挑戦する県議会活動の決意が述べられました。

県議選 トピックス

県議選告示の日（三月二十九日）には、選挙事務所も開設され、佐藤勉衆院議員、船田元衆院議員、上野通子参院議員、そして、高橋克法参院議員の皆様にも駆けつけていただき激励をいただきました。

翌日の三十日には、茂木敏充内閣府特命担当大臣（経済・財政・政策）も来所され、激励とご挨拶をいただきました。



佐藤勉衆院議員と野田尚吾特別顧問



茂木大臣の挨拶

後援会行事のお知らせ

日向野義幸後援会行事が次のとおり開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

○後援会親睦旅行（美幸会主催）

期日 10月28日（月）
場所 山梨県甲府・石和方面
会費 8500円
集合場所 旧栃木警察署跡地
※未定、決まり次第連絡します。



楽しい甲州路・バスの旅！



信玄ミュージアムを見て昼食は「ほうとう」！！
車窓からの紅葉も見頃だよ！！

○親善ゴルフコンペ

期日 11月7日（木）
会場 ノースヒルズカントリークラブ
（栃木市尻内町）



和気あいあい
いい汗かきましょう！

「美幸会」新会長に川津美知子さん

県議選も済んだ七月十一日（木）に日向野後援会事務所で、日向野後援会女性部「美幸会」の役員会が行われました。

会長の藤野チエさんと副会長の大谷美智子さんから「辞意」の申出があったための会議でした。

会議は日向野県議、古澤後援会長代行、小池幹事長も出席して行われ、藤野会長の会長辞任を了承し、次期会長に川津美知子さんが就任することになりました。

日向野後援会女性部会員百五十名の「美幸会」。新会長のもと引き続き日向野後援会の屋台骨を支えて頑張ることになります。会員の皆様よろしくお願ひします。



美幸会役員会

藤野チエさんご苦勞様でした



藤野チエさんは、栃木市議會議員日向野義幸誕生以来、後援者として、市議會議員、県議會議員、栃木市長、そして、再度の県議會議員と「ずーと」日向野義幸を支えてきました。

今回の県議選でも、朝いちばんで選挙事務所に入り、大谷美智子副会長さんと共に、その日の選対活動をする人たちを支えて、「目いっぱい」頑張ってくださいました。本当にご苦勞様でした。

後援会事務局だより

七月一日から日向野義幸後援会事務局職員が代わりました。よろしくお願ひします。正田恵美子です。



石原昭子さん
ありがとうございます。
ございました。

未来 ネットワーク 通信

2019年8月号

編集・発行 ひがの義幸後援会総連合会
発行日 令和元年（2019）8月23日
編集発行人 高田良久
事務局 〒328-0075
栃木県栃木市箱森町7-9
TEL 0282-23-8855
FAX 0282-23-8856
E-mail info@higano.jp